



農三ポーズ

農三ポーズをしている東京農業大学第三高等学校ダンス部の皆さん
 今回は地域のイベント等で活躍している東京農業大学第三高等学校ダンス部の皆さんを紹介します。
 ダンス部は昨年、2024(令和6)年にできた新しい部活です。一昨年の文化祭(浪漫祭)にて、ダンス好きの生徒が有志でステージに立ったことがきっかけで生徒たちが創設に動き、その熱意に学校が応え創部されました。現在女子生徒24人、男子生徒3人、合計27人で活動し、学校内の文化祭や地域のイベントなどで「ヒップホップ」を中心に「K-POP」など、様々なジャンルのダンスを披露して会場を盛り上げています。
 生徒にダンスについて聞くと「音楽に合わせて身体を動かすことが単純に楽しいし、練習を重ねることでダンスが揃っ

ていくことがうれしいので、これからも楽しく続けたい」と語ってくれました。「先生だけではなく、生徒同士でコミュニケーションを取り、お互いに教え合うことで、より部員同士の仲が深まり、統一感のあるダンスができるようになってきています」と顧問の金澤先生。

今後の目標は2月に開催される大会に出場し、練習の成果を披露してダンス部の魅力をより広めていくことだそうです。取材中、みんな笑顔でダンスの練習をしている姿が印象的でした。

ダンス部の皆さん、これからも大好きなダンスを楽しんでくださいね。



まちかど スケッチ 東松山ぼたん園に宇宙!?

絵子猫さんが描く
高坂彫刻プロムナード
 H. Takata × ECOMMO

高田博厚作「ポール・シニャック」
 市HP

このコーナーは、今月号をもって最終回となります。
 問 生涯学習課文化芸術推進室 ☎21-1431 ☎23-2239



12月14日(土)～25日(水)、東松山ぼたん園でコスモ・イルミネーションを初めて開催しました。
 約20万球のLEDの光や地面に投影した映像により、普段の公園とは一味違う、宇宙をイメージした世界が広がっていました。
 園内には、訪れた人の「すごーい」「きれいー」などの声が響いていました。

響き渡る美しい音楽



12月15日(日)、市民文化センターで東松山音楽祭2024「祝祭」が開催されました。市制施行70周年を記念して、市応援団員の林美智子さんをはじめとする地域ゆかりの音楽家の皆さんが集まり、市民合唱団と比企交響楽団が6年ぶりにベートーヴェン第九(合唱付)を演奏しました。また、子ども合唱団の演奏も行われました。響き渡る美しい音楽に、会場から大きな拍手が送られました。



ノーベル物理学賞受賞 梶田隆章先生の講演会



12月19日(木)、市民文化センターでノーベル物理学賞受賞梶田隆章基金事業「夢 with Science」を開催しました。市立中学校2年生が参加し「科学の楽しさ～私の経験から～」を演題にニュートリノ研究の話等を聞くことができました。梶田先生からは「科学研究は自然の謎を少しずつ解き明かしていく楽しい仕事なので、皆さんも科学に興味をもってほしい」との話がありました。

この広報紙にあなたが写っていましたら広報広聴課へご連絡ください。写真や写真データを差し上げます。

ミニミニ情報	人口と世帯(1月1日現在)	交通事故発生件数(12月中)	市内の空間放射線量測定結果
	人口: 91,256人 (-6)	発生件数: 424件※	市内34か所で空間放射線量を定期的に測定しています。
	男: 45,787人 (-12)	人身事故: 59件(死者: 1人、けが人: 71人)	1月の測定においても、基準値を下回っています。
	女: 45,469人 (+6)	物損事故: 365件	測定結果の詳細については、市HPに掲載しています。
出生(12月中): 40人 (-1)	※東松山警察署管内(東松山市、滑川町、川島町、吉見町)の件数	火災と救急件数(12月中)	環境政策課 ☎63-5006 ☎23-7700
死亡(12月中): 86人 (-17)	火災件数: 5件	救急件数: 605件(交通: 42件、急病: 385件、その他: 178件)	
転入等(12月中): 291人 (-51)	搬送人員: 516人		
転出等(12月中): 251人 (-20)			
世帯数: 43,757世帯 (+10)			
* ()は前月比			

かどちゃんのかどちゃん
 門倉緑地係長
 埼玉県こども動物自然公園
植物ZOO鑑
 花だより

【雨水】雪が雨に変わり、水がぬるみ草木の芽が動き始めるころ。

前回の松に続き、今回は竹を紹介しします。
 松と同じく常緑で寒さに耐え忍び、雪にも柔軟に対抗する竹は、昔から吉祥の植物とされてきました。それゆえ縁起物の門松にぴったりです。

竹は古くから親しまれ、日本文化の中では欠かせない存在です。文様や絵画の中で描かれることもありますし、建築や工芸などでもよく使われています。さらには「雨後のタケノコ」、「破竹の勢い」、「竹を割ったような性格」など、竹の性質を言い表した言葉も数多くあります。このことから、竹と日本人は深く関わってきたことがわかります。

動物園では、ペンギンヒルズの東側と未開園区の2か所で、レッサーパンダのエサとして竹を栽培しています。しかし、レッサーパンダは数ある種類の中でもモウソウチクしか食べません。園のものに加えて、週に一度ほど近隣の竹林からいただいておりますが、種類が混交した竹林では選別をしなければなりません。選ぶのは、節の環が一本であり、かつ輪の下の白い粉が落ちた少し古いものです。

春先には園内に立派なタケノコが顔を出しますが、レッサーパンダのために大事に見守ってくださいね。

★モウソウチク(孟宗竹) イネ科マダケ属。中国原産のタケノコの取れる竹。元文元年(1736年)に島津氏21代当主が、琉球王国を通して清から輸入し、仙巖園(磯庭園)に植えたのが全国に広まったと言われています。

※3月号は動物ZOO鑑です。



真っ直ぐに伸びる竹



竹を食べるレッサーパンダ



節の環が1本

